

令和4年度
砥部町水道事業会計

決 算 審 査 意 見 書

砥部町監査委員

目 次

1	審査について	
(1)	審査対象	1
(2)	審査期日	1
(3)	審査の方法	1
2	審査の結果	1
3	決算の概要	
(1)	水道事業の業務状況	2
(2)	収支の状況	
①	収益的収入及び支出	2
②	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績	
①	経常収支について	4
②	給水収益の状況	4
③	費用使途別構成比	5
(4)	企業債の状況	5
(5)	資産の状況	6
4	結び	6

凡 例

本書における数値等の取り扱いについては、以下のとおりである。

- 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入して表示した。したがって、内訳の計が「合計」又は「小計」の金額と一致しない場合がある。
- 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示した。したがって、内訳の構成比の計が「合計」の数値と一致しない場合がある。
- 前年度との比較は、原則として項目ごとに千円単位に四捨五入したうえで、差引数値又は増減比を算出している。
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」・・・ 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
 - 「－」・・・ 該当数値がない場合又は比率で計算不能の場合
 - 「△」・・・ 負数を示し、増減を示すときは減を表す

1 審査について

(1) 審査対象

令和4年度砥部町水道事業会計決算

(2) 審査期日

令和5年7月26日

(3) 審査の方法

町長から審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類が地方公営企業法その他関係法令の規定に基づいて作成され、また、それらが事業の経営成績及び財政状態を正確かつ適正に表示しているか否かについて審査した。

審査にあたっては、事業報告書等、事業実態の詳細について、関係職員の説明を聴取し、関係証憑の確認を実施するとともに、例月現金出納検査等の結果も参考とした。

2 審査の結果

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は証書類と符合し正確であり、当事業の当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示されているものと認められた。

予算の執行は、適正であると認められた。

3 決算の概要

(1) 水道事業の業務状況

水 道 の 状 況

年度	給 水 戸 数 (戸)	給 水 人 口 (人)	普及率 (%)	有収率 (%)	1日最大 供給量 (m ³)	1日平均 供給量 (m ³)	供 給 単 価 (円/m ³)	給 水 原 価 (円/m ³)	管 の 総延長 (m)
4	8,990	19,387	94.7	81.7	8,208	7,195	104	128	165,347
3	8,842	19,343	94.6	84.5	8,474	7,272	121	119	165,221
2	8,797	19,478	94.5	85.2	8,185	7,246	119	116	164,401
元	8,752	19,697	94.4	79.7	8,664	7,719	120	117	163,953

(2) 収支の状況

① 収益的収入及び支出

単位：千円

		4 年度		3 年度	2 年度	元年度
		予算現額	決算額	決算額	決算額	決算額
収 入	営業収益	320,973	312,835	332,658	324,963	330,123
	営業外収益	49,479	63,618	38,007	33,356	32,797
	計	370,452	376,453	370,665	358,319	362,920
支 出	営業費用	324,304	307,215	315,369	300,694	307,565
	営業外費用	21,623	19,025	18,845	30,665	26,857
	特別損失	50	—	—	—	—
	予備費	500	—	—	—	—
	計	346,477	326,239	334,214	331,359	334,422
収支差引額		23,975	50,214	36,451	26,960	28,498

収入は、予算現額3億7,045万2千円に対し、決算額3億7,645万3千円で、収入率は101.6%となっている。

支出は、予算現額3億4,647万7千円に対し、決算額は3億2,623万9千円で、執行率は

94.2%となっている。

② 資本的収入及び支出

単位：千円

		4 年度		3 年度	2 年度	元年度
		予算現額	決算額	決算額	決算額	決算額
収 入	企業債	461,700	431,500	195,500	36,800	42,600
	補助金	50,948	51,794	—	—	—
	負担金	1,300	1,341	2,500	2,178	1,675
	工事負担金	1,300	1,276	80,571	17,638	42,229
	出資金	64,000	63,000	—	—	—
	計	579,248	548,911	278,571	56,616	86,504
支 出	建設改良費	636,039	598,502	358,740	126,369	205,706
	企業債償還金	143,547	141,022	126,638	110,007	94,016
	計	779,586	739,524	485,378	236,376	299,722
収支差引額		△ 200,338	△ 190,613	△ 206,807	△ 179,760	△ 213,218

収入は、予算現額5億7,924万8千円に対し、決算額5億4,891万1千円で、収入率は94.8%となっている。

支出は、予算現額7億7,958万6千円に対し、決算額7億3,952万4千円で、執行率は94.9%となっている。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額190,612,677円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額47,839,079円及び過年度分損益勘定留保資金142,773,598円で補てんしている。

(3) 経営成績

① 経常収支について

単位：千円

		4 年度	3 年度	2 年度	元年度
経常 収益	営業収益	289,192	302,839	296,092	304,295
	営業外収益	32,454	31,602	33,054	32,226
	計（A）	321,646	334,441	329,146	336,521
経常 費用	営業費用	295,827	302,682	289,559	296,834
	営業外費用	23,788	19,089	21,039	22,779
	計（B）	319,615	321,771	310,598	319,613
経常損益（A）－（B）		2,031	12,670	18,548	16,908
特別 損益	特別利益	—	—	—	—
	特別損失	—	—	—	—
当年度純利益		2,031	12,670	18,548	16,908

当年度の経常収支は、経常収益3億2,164万6千円に対し、経常費用3億1,961万5千円となっており、純利益は203万円となっている。

② 給水収益の状況

単位：千円・m³・%

水 道 使 用 料				使 用 水 量			
4 年度	3 年度	2 年度	増減率 (4 年度 : 3 年度)	4 年度	3 年度	2 年度	増減率 (4 年度 : 3 年度)
222,273	270,339	269,056	△ 17.8	2,147,262	2,243,444	2,254,360	△ 4.3

前年度対比では、水道使用料・使用水量ともに減少している。

③ 費用使途別構成比

単位：千円・％

	4 年度		3 年度		2 年度		増減率 (4 年度： 3 年度)
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
人件費	23,724	7.4	27,238	8.5	24,983	8.0	△ 12.9
動力費	48,853	15.3	52,278	16.2	44,490	14.3	△ 6.6
物件費その他	78,854	24.7	83,341	25.9	77,713	25.0	△ 5.4
減価償却費等	149,292	46.7	140,118	43.5	142,756	46.0	6.5
支払利息	18,892	5.9	18,796	5.8	20,655	6.7	0.5
特別損失	—	—	—	—	—	—	—
計	319,615	100	321,771	100	310,597	100	△ 0.7

使途別では、減価償却費等、物件費その他、動力費が主に占めている。

前年度対比では、減価償却費等・支払利息が増加し、人件費・動力費・物件費その他が減少している。

(4) 企業債の状況

単位：千円

資 金 区 分	3 年度末残高	年 度 中		4 年度末残高
		借入額	償還額	
財政融資資金	432,553	167,000	55,429	544,124
地方公共団体金融機構資金	1,175,749	264,500	85,593	1,354,656
計	1,608,302	431,500	141,022	1,898,780

第6配水池築造工事及び同電気計装工事等に伴い、4億3,150万円を借り入れ、未償還残高は2億9,047万8千円増加し、18億9,878万円となっている。

(5) 資産の状況

単位：千円

		4 年度	3 年度	増 減
固定資産	有形固定資産	4, 299, 859	3, 899, 377	400, 482
	無形固定資産	361	361	0
	投資	17	17	0
	計	4, 300, 236	3, 899, 755	400, 481
流動資産	現金・預金	207, 097	226, 182	△ 19, 085
	未収金	99, 255	120, 032	△ 20, 777
	貯蔵品	305	240	65
	前払金	—	95, 000	△ 95, 000
	計	306, 657	441, 454	△ 134, 797
合 計		4, 606, 893	4, 341, 209	265, 684

固定資産は、第6配水池築造工事等により4億48万1千円増加しており、除却及び減価償却後の未償却残高は42億9,985万9千円となっている。

流動資産は1億3,479万7千円減少し、3億665万7千円となっている。

4 結び

良質な水を安い価格で安定的に供給するための基盤整備と給配水に留意するとともに、経費の節減・堅実運営に努め、概ね良好な成果を得て令和5年度に引き継ぐことができたものと見受けられる。

水道事業については、公共下水道管渠布設に伴う水道管移設工事や老朽管及び耐震化に満たない設備の更新について計画的かつ円滑に推進されることを期待する。

少人数の山間地など採算ベースに乗りにくい地域においても、飲料水の安全面から行政が運営する必要があり、安定供給に努められている。引き続き、給水原価の低減に努めるとともに、有収率の向上を図り、より一層合理的・効率的な経営に努められたい。

また、節水意識の向上や給水人口減少で使用水量の大幅な伸びが期待できない中、今後、経営環境はますます厳しくなることが予想されるため、5年度からの料金改定による影響も十分注視しながら、引き続き安定した水源確保と安心安全な飲料水の供給に努められたい。